

“奈良県産ニッポンバラタナゴ里親プロジェクト”
ニッポンバラタナゴ里親校（奈良市立平城小学校）で
小学生と近畿大学学生が共同で池の水抜き調査を実施します

1 趣 旨

近畿大学農学部水圏生態学研究室（活動代表 北川忠生）では、奈良県自然環境課および奈良市教育委員会の協力の下、奈良県で絶滅の危機に瀕している希少野生動物の淡水魚「ニッポンバラタナゴ」を保護するために、様々な個人や団体に「ニッポンバラタナゴ」を預け、保存・繁殖してもらう“里親プロジェクト”を実施しています。

現在、8つの学校がこの活動に里親として参加していますが、本年度より里親校として活動している奈良市立平城小学校において、ニッポンバラタナゴの繁殖に成功しました。今回、近畿大学の学生が指導して、小学生がタナゴの生息している観察池の水抜き、捕獲調査を行い、個体数の確認作業を行います。また、生き物の取り上げ後、そこにたまったヘドロ等を掻き出して環境改善作業を行います。

2 日 時 平成24年11月29日（木）14時00分～15時30分（雨天決行）

3 場 所 奈良市立平城小学校 敷地内の観察池
（校長 福田芳高 〒631-0811 奈良市秋篠町1394 (0742-45-4151)

4 内 容 事前にニッポンバラタナゴが生息している平城小学校の池（縦横約4x4m、水深約50cm）の水位を下げています。小学生と大学生が協力して、生き物を捕獲し、計数します。その後、すべての水を抜いて底にたまったヘドロ（有機物）を抜き取り環境改善作業を行います。

5 取材方法 当日13時30分に小学校正面玄関にお集まりください。事前の内容に関するご質問は、下記近畿大学北川にお問い合わせください。

6 実施者 小学生 科学クラブ所属、4から6年生（25名）
平城小学校 科学クラブ担任教諭 堀川淳司
近畿大学農学部環境管理学科 4年生 谷口翔太 他5名
実施指導：同准教授 北川忠生（専門：魚類の保全遺伝学）
電話：(0742) 43-6372, E-mail: tkitagaw@nara.kindai.ac.jp

観察池



ニッポンバラタナゴ



※ 安易な生物の放流は、その地域の生態系や遺伝的多様性を攪乱する危険性があります。今回の放流は、奈良県産「ニッポンバラタナゴ」の保護上の必要性、緊急性を専門的な立場から十分に考慮した上で実施するものであり、外部への流出防止措置等の放流に伴うリスクへの万全の対策が施されています。